



UCS Server Configuration Utility の起動

UCS Server Configuration Utility (SCU) は 64 ビット Linux カーネルに基づくブート可能イメージで、シスコ ラック サーバで RAID 論理ボリュームの設定、オペレーティング システムのインストール、診断の実施などの操作を実行するために使用できます。これは、一度に 1 つのサーバで実行されるように設計されています。



(注) UCS-SCU は、UCS C220 M3 および C240 M3 サーバの F6 ブート オプションから起動できます。

この章は、次の項で構成されています。

- [cisco.com からの ISO イメージの取得\(2-1 ページ\)](#)
- [UCS-SCU のブート\(2-2 ページ\)](#)
- [UCS-SCU の終了\(2-4 ページ\)](#)

cisco.com からの ISO イメージの取得

サーバ用の ISO ファイルをオンラインで検索するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 <http://www.cisco.com/cisco/software/navigator.html> に移動します。
- ステップ 2 中央のカラムで [ユニファイド コンピューティング (Unified Computing)] をクリックします。
- ステップ 3 右側のカラムで [Cisco UCS C シリーズ ラックマウント スタンドアロン サーバ ソフトウェア (Cisco UCS C-Series Rack-Mount Standalone Server Software)] をクリックします。
- ステップ 4 右側のカラムのサーバ モデルの名前をクリックします。
- ステップ 5 [ソフトウェア タイプの選択 (Select a Software Type)] リストで、[Unified Computing System (UCS) Server Configuration Utility] を選択します。
[ソフトウェアのダウンロード (Download Software)] ページが表示され、リリース バージョンおよび UCS-SCU イメージが示されます。
- ステップ 6 [今すぐダウンロード (Download Now)] をクリックして ISO ファイルをダウンロードします。
- ステップ 7 次のページで情報を確認し、[ダウンロードを続行 (Proceed With Download)] をクリックします。プロンプトが表示された場合は、cisco.com の資格情報を使用して、ログインします。
- ステップ 8 次の画面に進んでライセンス契約書に同意し、SCU ISO ファイルを保存する場所を参照します。

UCS-SCU のブート

UCS-SCU アプリケーションは、次のいずれかの方法で起動できます。

- [仮想メディアの使用 \(2-2 ページ\)](#)
- [物理メディアの使用 \(2-3 ページ\)](#)

仮想メディアの使用

仮想メディアを使用した UCS-SCU アプリケーションのブートに KVM コンソールを使用できます。

ここでは、次の内容について説明します。

- [KVM コンソールについて \(2-2 ページ\)](#)
- [仮想 KVM コンソールの開始 \(2-2 ページ\)](#)
- [仮想 KVM コンソールからのブート \(2-3 ページ\)](#)

KVM コンソールについて

KVM コンソールは Cisco IMC からアクセス可能なインターフェイスであり、サーバへのキーボード、ビデオ、マウス (KVM) の直接接続をエミュレートします。KVM コンソールを使用すると、リモートの場所からサーバに接続できます。



(注) KVM コンソールには、Java Runtime Environment (JRE) バージョン 1.5.0 以降が必要です。

KVM コンソールには次のタブがあります。

- [KVM]: このタブには、アプリケーションの起動時に UCS-SCU アプリケーションが表示されます。
- [仮想メディア (Virtual Media)]: このタブでは、仮想ドライブに次のものを対応付けることができます。
 - コンピュータまたはネットワーク上の CD/DVD
 - コンピュータまたはネットワーク上のディスク イメージ ファイル (ISO または IMG ファイル)
 - コンピュータ上の USB フラッシュ ドライブ

仮想 KVM コンソールの開始

仮想 KVM コンソールを開始するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 Cisco IMC にログインします。
- ステップ 2 [Launch KVM Console] をクリックします。
- 仮想 KVM コンソールにサーバ コンソールが表示されます。
-

仮想 KVM コンソールからのブート

はじめる前に

- cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、「[cisco.com からの ISO イメージの取得](#)」セクション(2-1 ページ)を参照してください。

仮想 KVM コンソールを使用して UCS-SCU アプリケーションを起動するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 デスクトップから Cisco IMC にログインします。
 - ステップ 2 [KVM コンソールの起動(Launch KVM Console)]をクリックして KVM コンソールを起動します。
 - ステップ 3 [仮想メディア(Virtual Media)]タブをクリックします。
[仮想メディア (Virtual Media)]タブが開きます。
 - ステップ 4 [イメージの追加(Add Image)]をクリックします。
 - ステップ 5 ISO ファイルを参照して選択し、[開く (Open)]をクリックしてイメージをマウントします。
 - ステップ 6 [クライアント ビュー(Client View)]セクションで、追加した ISO ファイルの [マッピング済み (Mapped)] カラムにあるチェックボックスを選択して、マッピングが完了するのを待ちます。
KVM コンソールの [詳細 (Details)]セクションに進行状況が表示されます。
 - ステップ 7 Cisco IMC で [サーバの電源再投入(Power Cycle Server)]をクリックしてサーバをリブートします。
 - ステップ 8 サーバが起動したら、F6キーを押してブート デバイスを選択します。
ブート選択メニューが表示されます。
 - ステップ 9 矢印キーを使用して [シスコ仮想 CD/DVD(Cisco Virtual CD/DVD)]を選択し、Enter を押します。
サーバは UCS-SCU イメージを使用して起動し、[KVM] タブでアプリケーションを起動します。
-

物理メディアの使用

はじめる前に

- cisco.com から UCS-SCU ISO イメージファイルをダウンロードします。イメージをダウンロードする方法については、「[cisco.com からの ISO イメージの取得](#)」セクション(2-1 ページ)を参照してください。
- .iso CD を書き込むアプリケーションを使用して .iso CD を作成します。

物理 CD/DVD を使用してサーバ上でアプリケーションをブートするには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 USB ポート経由でサーバに USB DVD ドライブを接続します。
 - ステップ 2 DVD ドライブに物理メディアを挿入します。
 - ステップ 3 サーバを再起動し、F6キーを押してブート選択メニューを表示します。ブート デバイスとして **CDROM ドライブ**を選択します。
サーバは UCS-SCU イメージを使用して起動し、アプリケーションを開始します。
-

UCS-SCU の終了

UCS-SCU アプリケーションを終了するには、次の手順を実行します。

-
- ステップ 1 ディスク ドライブから .iso ディスクを取り出します。
 - ステップ 2 [再起動 (Reboot)] をクリックし、[はい (Yes)] をクリックしてサーバのリブートを確定します。
-